



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

解説

礼拝作法（おつとめのしかた）⑥

住職 平田真純

当山ご信徒が、待乳山の経本「大聖歡喜天禮拝作法」でおつとめする際の作法や意味をシリーズで解説いたします。

待乳山が属する聖観音宗は、天台宗の縁故宗派として、その教義、法儀等は共通しています。

天台宗は「法華経」を所依の經典としており、重視される思想の一つに「菩薩」に対する考え方があります。詳しい解説は避けませんが、観音菩薩や地藏菩薩などの御尊体とともに、私たち衆生も菩薩になる資質を有しており、それを目指すべきことが説かれます。

菩薩の徳を表す「上求菩提 下化衆生」という言葉があります。常に悟りの境地を求め修行し、同時に多くの人々を救済し、教化するということですが、私たちには、いくら菩薩になる素質があるといっても、敷居は高く感じてしまいます。しかし言葉を変えれば「上求菩提」に自分いきびしく、「下化衆生」に人を大切に「とやるのではないでしょう。言うは易し、行は難しですが、これなら身近に考えられます。

⑤ 発菩提心真言

おん ぼう ぢ したた ぼ だは だ や み

おん ぼう ぢ したた ぼ だは だ や み

「上求菩提 下化衆生」、つまり自身を高めると同時に利他を心がける求道心に向かう心を起こすための真言です。そしてそれを常に守るために、次の真言を称えます。

⑥ 三摩耶戒真言

おん さ ま や さたばん

おん さ ま や さたばん

仏・菩薩・私たち衆生は平等であり、ともに菩提心（上求菩提 下化衆生）に向かうことを誓う真言です。両真言とも合掌で三回称えます。

⑦ 願文

礼拝から三摩耶戒真言までの一つ一つの読誦・所作によって、心を覆う皮を一枚一枚剥がし、本来の心を顕し、そして所願を心中にて念じます。我執やそれによる計らいを捨て、人事を尽くして天命を待つような気持ちで、雑念を交えず一心に祈願いたしましょう。

浮世絵展



浮世絵展開催のお知らせ

九月二十一日（月）から十月四日（日）まで、信徒会館広間特別会場にて浮世絵展を開催いたします。江戸期頃までの待乳山は、隅田川を一望できる名所として名高く、詩歌に歌われる他、多くの浮世絵に描かれました。

平成二十五年に開催致しました前回の浮世絵展では、聖天町会共催の元、待乳山周辺の歴史をパネルで紹介し大変ご好評を頂きました。今回も同様に、期間中一般の方に特別公開いたします。

また、日本の浮世絵は海外でも高く評価され、明治以降、諸外国に美術品として収集されました。今回の浮世絵展では、遙か海を超えボストン美術館所蔵の浮世絵の中から当山の描かれたものを二十一点展示いたします。国境を超えた江戸情緒をご観覧ください。

UKIYO E

from BOSTON MUSEUM



みなさまのご来場をお待ちしております。

開催期間 九月二十一日（月）～十月四日（日）

開催日時 午前九時半～午後四時 入場料無料

特設サイト

<http://www.i.n.mx/matuhiyama/ukiyoten/>

三宝荒神御開帳のお知らせ



当山では不浄を払う火の仏神である三宝荒神様を、本尊、大聖歡喜天様の脇侍としてお祀りしております。毎年お正月に同じく聖天

様の脇侍である毘沙門天様を御開帳しておりますが、今回浮世絵展の開催を記念して、三宝荒神様を御開帳いたします。

九月二十一日（月）から十月四日（日）までの間、

内陣左手の仮座に三宝荒神様をお祀りします。三宝荒神様をご覧になれる貴重な機会ですので、ぜひご参拝ください。

築地塀修繕 工事完了のお知らせ

七月～八月初旬にかけて行っていた築地塀の修繕工事が無事完了いたしました。

工事期間中はご参拝の皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

今回の工事で表面に新しい漆喰を塗り固め、白くきれいな壁になりました。



歓喜講特別講演のお知らせ



十月十八日（日）、歓喜講祈禱会、及び、記念講演を開催いたします。今年の講演は、元日本浪曲協会会長、澤孝子さん、そのお弟子さんである澤勇人さんをお招きして浪曲をお届けします。

ご奉納

柴田達之様、柴田亜弥様より、寺務所と大玄閣用の紅白幕二枚をご奉納頂きました。



待乳山本龍院 九月の行事

開山会香湯加持会

かいぎん え こうとう か じ え

九月二十日（日）午前十一時

講金 三、〇〇〇円

九月二十日、開山会香湯加持会を執行いたします。

当山縁起によれば、推古天皇の御世の九月二十日に一夜にして霊山が隆起し、そのとき金の龍が舞い降りて守護したのが、当山の開山であると言われております。それから六年後の夏、この地方が大旱魃に見舞われた際、十一面観音様が天聖歡喜天の姿となってこの待乳山に降臨し、雨を降らせて万民を救ったとされています。以来、当山は大聖歡喜天様を祀った霊場、聖

天信仰の中心地として発展してまいりました。

香湯とは、清浄水にお香を加え煎じたもので、毎朝の浴油祈禱や法要の際に、堂内や行者自身の加持や、浴油の御尊体を洗い清めるために用います。今回の開山会では、この香湯でご参拝の皆様を加持いたします。加持によって、聖天様と堅い縁を結び、聖天様への信仰をますます深めて頂ければ幸いです。

今年も献茶に加えて、献香の儀が行われます。法要後は大広間、及び



境内で抹茶を皆様に振る舞います。皆様のご参加をお待ちしております。

特別開催 香席のお知らせ

九月二十日、開山会香湯加持会終了後、信徒会館にて香道についての解説と展示を行います。なかなか親しむ機会の少ない香道ですが、初心の方にも丁寧に説明致しますので、ご気軽に立ち寄りください。また先着二十名ですが、香席体験会も行います。



行事報告

七月十七日（金）、出世観音様の前で観音経を誦読し、供養致しました。

七月二十日（月）、常香講を執り行い、お香を供養いたしました。

訃報

当山の写経世話人である近藤邦子様が、享年八十三才にて永眠されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

九月行事予定

開山会香湯加持会

九月二十日(日)

午前十一時

講金

三,〇〇〇円也

献茶式、献香式、百味法要を執行後、ご参拝の皆様を浴油祈禱で使う香湯でお加持いたします。

浮世絵展

九月二十一日(月)～十月四日(日)

入場料

無料

大広間にて、待乳山に関する浮世絵、歴史パネルを展示いたします。

また期間中、三宝荒神尊を御開帳いたします。

朝まいり会

九月一日～七日

午前八時から八時半

会費

月五〇〇円也

七日には、読誦終了後に食事作法と、大般若法要を行います。

日曜勤行

九月十三日(日)

午前九時

参加費

無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

九月十三日(日)

午前十時/午後一時

会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

夜間開堂 坐禅の会

九月二十六日(土)

午後六時開堂

定員三十名

参加費

五〇〇円也

今月は本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要

九月二十五日(金)

午前十一時

法要料

五,〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

十月の行事

歡喜講祈禱会

十月十八日(日)

午前十一時

講金

三,〇〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日(お札は出ません)